

# 私の日の丸・君が代の授業



小林 正弘

## はじめに

私は若い頃、「日の丸、君が代」は教えないことが、  
聞いたと考えた時期があった。教えるとしても、せい  
ぜい明治政府の諸政策を取り上げるなかで、「天皇」が  
いかに民衆にとって遠い存在であったか、その存在を  
いかにして周知徹底せしめる必要があったかの視点で  
「君が代」や「紀元節」を扱う程度であった。私の考  
えを変えたのは文部省である。一九五八年の指導要領  
の改定で文部省は初めて「国旗を掲揚し、君が代を斉  
唱させることが望ましい」とした。しかし、ここでは、  
まだ「国歌」といわず、「君が代」であった。それは六

八年の改定でも変わらず、七七年の改定で「国歌」と  
なったが、依然として「望ましい」であった。従って、  
現場では基本的には職員会議の場で式次第は決定され  
ていた。それを大きく変えたのは、八九年の改定であっ  
た。従来、「祝日の意義を理解させるとともに」とあっ  
たものを「入学式や卒業式などにおいては」と式を特  
定し、さらに「国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱  
するよう指導するものとする」と強制を強めたのであ  
る。

私が「日の丸、君が代」を本格的に授業でとりあげ  
たのは、一九八一〜一九八四年のシンガポール在任中  
である。この時は七七年指導要領の下であり、特に強

制が強かったわけではない。それより、一九八二年に始まった教科書内容の国際問題化、さらに日本人子弟の現地における態度の横柄さが職員会議で話題になったことであった。結論は戦時中日本軍がシンガポールで何をしたのか、日の丸、君が代がどんな役割を果たしたのかについての認識の不十分さからくるのではないかとということであった。そこで私は仲間とともに、「社会科副読本、シンガポール」の作製を進めるとともに、日の丸、君が代の特別授業を「授業参観」で公開したのである。もとより批判は覚悟の上であったが、親からは感謝の言葉ばかりで、むしろ激励されたのは意外であった。シンガポールの人々にとっては、未だに日の丸、君が代は忌まわしい旗であり、歌であるという史実を教えたわけである。(詳しくは拙著「シンガポールの日本軍」沙文社刊参考)

帰国後は、主として、十五年戦争の学習の中でその歴史的役割を中心に扱うようにしてきた。ところが、文部省は八九年の改定で先述したように強制を強めたのである。私は教育課程講習会の席で指導、主事に「日の丸、君が代をきちんと教えたら、天皇に対する尊敬の念や愛国心が育ちますか」と質問した。答えは「解

りません」であった。そこで私は指導要領にあるように「国旗、国歌の意義を理解させる」べく、本格的な実践を試みた。その際、「国旗、国歌の強制」と「諸外国との比較」をどうしてもつけ加えたいと考えた。以来、歴史では、各国の国旗、国歌の由来を、公民で強制問題をとりあげている。

### 一、事前意識調査(一九九〇年一中と

一九九九年K中の二年生)

この授業にかかわらず、事前に生徒が何を知っていたのか、どんな意識でいるのかを知っておくことは極めて大切である。一九九〇年に朝日新聞社が行ったアンケートに合わせて中学二年生に聞いてみた結果である。(数字は%)

(1)あなたは日の丸の旗が好きですか、嫌いですか。

	I中	K中	朝日
好き	46	36	74
嫌い	35	37	7
その他	19	26	19

(2)あなたは君が代の歌が好きですか、嫌いですか。

	I中	K中	朝日
好き	18	8	74
嫌い	68	69	15
その他	18	23	20

(5)文部省は日の丸、君が代を義務づけた。そのことについてあなたは。

	I 中	K 中	朝日
賛成	11	6	39
望ましいでよい	30	28	50
行過ぎだ	26	42	
反対だ	27	19	8
その他	6	6	3

(3)学校の入学式や卒業式で日の丸を掲げる方が良いと思えますか、思いませんか。

	I 中	K 中	朝日
良いと思う	41	31	71
そう思わない	35	48	14
その他	24	21	15

(4)では入学式や卒業式で君が代を歌う方が良いと思えますか、思いませんか。

	I 中	K 中	朝日
良いと思う	35	16	61
そう思わない	46	64	23
その他	19	20	16

この調査の結果については単純に比較することはできない。約一〇年という年の開きがある上に、その時代の状況も考慮しなければならぬからである。I 中の一九九〇年は昭和天皇死去の翌年で、天皇問題、日の丸、君が代が連日のようにマスコミでとりあげられていた。従って、君が代の「君」が天皇を指すと理解していたものは、三年生一クラス四一名中二一名、二年生四二名中一二名もおり、ほとんどはニュースで知ったと答えていることでも分かる。

K 中の一九九九年は「国旗、国歌法案」が国会に上程されて、比較的マスコミに報道されてはいたが、関心の度合いは一般世論同様高いとはいえない状況であった。

また、君が代の歌詞を全員に書かせてみたが、双方とも正確に書けた子は一人もいなかった。大方は

君が代(世)は ちよ(千代)にやちよ(八千代)に さざれいし(石)のいわおと(岩音) なりて こけのむすまで

といったものである。笑うと「教えてもらったことないもん」と口をとがらして抗議するのである。もっともなのである。彼らはどんな意見をもって日の丸、



打算、思惑などに左右されている可能性が高いのにくらべ、中学生は純粹に、感覺的に判断しているとみることが出来る。

## 二、授業実践（四時間）

### (1) ねらい

① 国旗や国歌の歴史は、その国の民衆の歴史とともにあるべきものであることを知る。

② 各国の国旗や国歌には国民の共通のねがいがかめられていることを理解する。

③ バーネット事件や国内の教師処分問題を通じて、国旗、国歌の強制問題を考える。

文部省は「国旗、国歌の意義を理解させる」としながら、指導書では「国名、国旗の由来には深入りしない」などとしているが、全く矛盾している。アメリカのある州の教科書には旗の歴史に重ねながら解説を加えている。ほとんどの国でもそうであり、深入りすることが国家の歴史に迫り、民族の誇りを培うことにつながる。何故に日本の文部省は「深入りするな」と指導するのか、納得のいく説明が必要である。

### (2) 導入

\* 黒板に入手できるだけの国旗をマグネットでとめる（「世界の国旗」一七二カ国、大巧社がよい）。生徒もかなり知識を持っているので、当てさせると良い。  
\* デザインや色に何か意味があるのか発言を求める。黒板に整理しながら、その由来や国の成り立ちとの関係について気づかせるだけでもよい。

### (3) 展開 その1（世界の国旗、国家）

\* アメリカ、イギリス、フランス、インド、（又は韓国）を取り上げ、資料に沿って説明しながら曲をテープで聞かせる（テープは「世界の国歌」CDコロムビアレコードか「世界の国歌集」二十六カ国クラウンがよい）。  
\* 生徒に当てさせてもいいし、感想をいわせるのもよい。

\* 歌詞を読みながら、各国に共通することをあげさせれば、独立運動や革命の過程で生まれてきた背景や国民の自由、勇氣、連帯を賛えていることにも気づくであろう。

### (4) 展開 その2（日の丸、君が代）

\* 黒板に日の丸（寄せ書きのある出征兵士のもの）をマグネットでとめる。

\* 日の丸、君が代について知っていることをあげさせ

る。オリンピック、戦争、大相撲、式典などをあげるだろう。オリンピックは日の丸がないと参加できないのかと問いかける。

\*日の丸、君が代はどちらが先にできたかと問いかける。

\*紙を配り、君が代の歌詞をできるだけ漢字を使って書くよう指示する。同時に数人の生徒を指名して黒板に書かせる。意味も書くよう指示する。何回も歌わせられてきた割に書けない、意味が分からないことにショックを受けるだろう。

\*資料により日の丸、君が代の歴史を解説し、改めて曲を聞く。その際、明治政府は国民が自主的に掲げたり、斉唱しなかったため、式典などで強制した歴史についても補説する。

\*一九三一年「大日本帝国国旗法案」が衆議院で可決されながら、貴族院で否決された経緯にも触れる。

\*各国の国旗、国歌の由来と比較して、共通点、相違点をあげさせる。

\*生徒は君が代の作曲に外国人が関わっていることに疑問を抱くだろう。

(5) 展開 その3 (なぜアジアの人々が日の丸、君が

代を問題にするのか)

\*シンガポールの歴史の教科書を持ち込み、又はプリントして配る。

\*資料をもとに、日本軍占領下のアジア各国で日の丸、君が代がどのように扱われたのかについてシンガポールと韓国を中心に解説する。

\*シンガポールの家々に掲げられている日の丸は自主的に掲げたものだろうかと問いかける。

\*現地の子供向けの新聞にある、君が代を「ボンタウニアリガタイト思ヒマシタ」というのは本当だろうか、と問いかけ、意見を求める。

\*なぜ日本の旗や歌だけが問題にされるのかについて、ドイツやイタリアの例を引きながら簡単に解説する。

(6) 展開 その4 (国旗、国歌は国民に強制できるのか)

\*朝日新聞九〇年五月二四日付けの「教員二五人を懲戒」の記事を提示する。

\*この先生たちは何をして処分されたのかと問いかける。意見も求める。

\*七七年と八九年の学習指導要領の日の丸、君が代に

関わる部分を印刷して配付する。

\*これはだれに対するものか、国民、教師それとも君たちか。

\*この変化を当然だとみるか、おかしいとみるか。

\*君たちや親が国歌斉唱を拒否した場合処分はあるだろうか。ありうると思う人はどんな処分が考えられるか、あげてみてください。

\*アメリカで実際に処分されるという事件がおきました、といってバーネット事件の資料をみせる。アメリカ最高裁の判決を予想させる。

\*日本国憲法にも「思想、信条」を保護する規定があるかと問い、条文をさがさせる。

(7) こどもたちの感想。(展開その2までの一九九九年K中二年生である)

①日の丸と君が代の授業はとてためになった。でも日本人として一〇数年生きてきたけど、君が代は漢字で書くことができないし、なんで日の丸なのかも全然知らなくて、ちよつとくやしかった。それにまさか君が代が天皇中心の国家をたてる歌だなんてけんとうもつかなかった。ぼくはもともと国歌「君が代」は好きでなかつたので、ますます悪い印象になった。

②授業でやった君が代の歌詞を書くことは難しかった。

歌詞も知らず、その意味もわからないで歌っていたのかと思つた。けれど、きつと大勢の人は今までも、これからも知らずに歌うのだらうと思つたら、君が代は必要ないんじゃないかと考えた。歌の意味には天皇のことがいわれているけれど、天皇も私たちも同じ人間なのだし、日本に天皇一人だけで国民がいなかつたらそれは日本国とは呼ばないのではないかと思つた。私はこういつた意味でもあんまり君が代は好きではない。

③授業を聞いて、日の丸はやっぱいいかなあと思つた。だけど、君が代の君が天皇のことで、天皇のことも一回も考えたことないのに、天皇をたたえるつて感じでもないやだ。あと「君が代」を入学式や卒業式で歌うのを義務づけるのはやっぱ良くないと思う。というか、やりすぎなのでは？といいたくなる。歌わなかつただけで罰をあたえたりするなんて。あと歌が暗い。

④入学式や卒業式などで君が代を歌うことを「義務」とするのはやめてほしい。君が代をつくつたのが日本人でなく外国人というのが気に入らない。もつと早く君が代の意味を教えて欲しい。とても充実した楽しい授業だつたと思う。外国の歌も聞けて良かった。

⑤君が代は好きです。いろいろな国の国歌を聞いたけど、最後に聞いた日本のやつがやっぱよかった。いろいろな国の歌が聞けてよかったです。日の丸はシンプルすぎてあまり好きじゃなかったです。でも授業を聞いていろいろ意味があると知った。先生が持ってきた日の丸の旗も昔のことがわかって勉強になった。

⑥戦争の時使った旗はやめてほしいです。苦い思いがある人もいるはずだから。もう戦争はしないと決めただから戦争のときの旗はもういいと思う。メロデーが暗すぎます。別に卒業式とかに歌わなくてもいいと思う。

⑦私ははつきり言って、日の丸、君が代が嫌いだ。世界の国旗や国歌を見たり聞いたりすると、日本の国旗はあまりおもしろみがなく、国歌は地味です。あと、小、中、高校の入学式などに君が代を歌う理由がよく分からない。今ニュースでいろいろ国歌のことが問題になっているけど、その原因はきつとなぜ君が代を歌わなくてはいけないのかということ私たち（若者）は知らないの、そこをちゃんと大人が教えてくれればこんな問題にならなかつたと思う。

⑧私はあまりよく日の丸の由来は知らないけど日の丸

の赤い丸が太陽を表すものなら、まわりの白は青い方がいいと思うし、太陽は全世界に出るものなのだから、日本の国旗にしてしまうのは少しおかしいと思う。今は天皇だけの国家じゃないのだし、天皇をたたえるだけじゃなくて、できるなら国民をたたえてほしい。

⑨私たちがいつも何気なく見ている「日の丸」は他の国ではいろいろな見方をされているということが分かりました。特に朝鮮では日の丸をみるたび、戦争中日本がしてきた悪事を思い出すものでしょう。戦争中日本がしてきたことを忘れないためにも「日の丸」はこれからずっと受け継いでいくべきでしょう。君が代については、日本はもう天皇中心の国ではないのだから、せめて歌詞だけでも変えるべきだと思います。ふだん何気なく見たり聞いたりしている国旗、国歌ですが国によってこんなに違うんだと改めて思いました。それぞれいろいろな由来があつて話を聞いているだけでもしよかったです。

⑩授業中に君が代の歌を書いてみたけど、やはり、だれ一人として間違えないで書く人はいなかった。日本も小学校のころからでも、中学校からでもいいけれど、絶対勉強したほうがいいと思う。大人になって、日本



人だれもが日本のことを堂々と主張できるように  
なつた方がいいと思う。

⑩日の丸の歴史がわかつた。君が代の意味がわかつた。  
なおのこと、この二つには反対だ。君が代は天皇の歌  
だつた。最悪。会つたこともない人にささげる歌なん  
て絶対いや。私たちは何/天皇の奴隷?日の丸はシン  
ブルすぎ、弁当になるほどばかにされている。

⑪知らないことばかりだつた。今の天皇は本当にいろ  
いろ努力をしている。優しくて、心のきれいな人だと  
思う。確かに卒業式などで国歌とするのはいいと思う。  
私もはじめは何も知らないくせに反対していた。でも、  
天皇のことや、いろいろなことを勉強し、認めたいと  
思うようになった。昔の天皇はひどいことをしたかも  
しれないけれど、今の天皇は私たちの日本をよくしよ  
うとしていると思う。昔の歴史にこだわらないで、今  
の天皇の気持ちを考えてあげることも大切だと思う。  
⑫母親の前に教えてもらったことがあるので、だいた  
い知っていた。でもこういう話を聞くたびに、君が代  
が国歌であることが不思議になつてくる。だいたい内  
容が今の日本と完全にずれている。だから国歌として  
の君が代に愛着心がでてこない、あまりおおきな声を

出して歌う気にもなれないのだと思う。私は君が代が  
あまり好きでない……。でも日の丸は大好き。世界の  
国歌や国旗の由来がよくわかつたのでうれしかった。

### 三、国旗、国歌の強制とどう闘うか

「国旗、国歌法案」が一九九九年八月九日、長崎原  
爆の日、またソ連参戦の日国会を通過した。従来私  
たちは入学式等に日の丸を掲揚し、君が代を斉唱する  
ことに反対する論拠の一つとして、「学習指導要領」は  
告示でしかなく、法的根拠とはならないと主張してき  
た。それが崩されることになる。もう一つの論拠とし  
て「侵略のシンボル論」がある。これはいまでも十分  
有効である。戦争責任をアジア諸国からつきつけられ  
続けている現状ではなおさらである。ただ最近の校長  
のなかには「日の丸が血ぬられた旗だというなら、星  
条旗だつてベトナムで、旧ソ連だつてアフガニスタン  
で血ぬられたではありませんか」という理屈を持ち出  
す人がいる。戦時中の日の丸の歴史を知らない若い教  
師には説得力をもっている。また、「シンガポールやア  
メリカの学校では毎朝国旗を掲揚し、国歌を斉唱して  
いるじゃないですか」という校長もいる。これは多民

族国家である両国が国民の意識を統一するためにやっていることで、そうでない国々ではやらないし、両国の旗も歌も民衆の歩みのなかで生まれてきたもので、国民の間にその是非に論争はないということ。反論は可能である。ドイツなどEU諸国やカナダなどでは国家的行事でもない入学式などで国旗を掲げ、国歌を斉唱する国などないのである。

## おわりに

国旗、国歌の法制化によって、教育現場に今後どんな変化が起こるであろうか。

### (1) 強制の動きが強まると思われる。

例えば、今でも国歌に限らず、校歌であれ、なんであれ口を開こうとしない生徒がいる。この子たちの口を無理やり開けようというのか。それ以上に、歌うことを「拒否」した生徒にどう対処するのか。学級担任の指導力を問う場面も予想される。保護者でも着席したままの人、歌わない人に対して、起立を呼びかけるような行動はありうる。保守系の議員などが式に参列し、チェックをするようなこともあるかもしれない。

祝祭日の日の丸の掲揚の度合いを管理職が職員の家を

回ってチェックすることも有りうる。日の丸の予約販売までやりかねない。

(2) 法制化されたということは、改正により今後、廃止もありうることになった。

従来、政府は日の丸、君が代が慣習によって国民に定着していると説明してきた。法制化された以上、今後の世論、国会構成の変化によって改正または廃止もありうることになったわけである。さらに言えば、法律には「尊重規定」も「強制」の根拠も明記されていないわけだから、私たちは「思想、信条の自由」を盾に十分闘うことは可能である。「君が代」の「君」についても、政府は「主権の存する日本国民の総意に基づく象徴天皇」と説明したわけだから、子どもたちにはそのまま伝え、議論させた方がよい。これも、将来、総意に基づかない事態になれば、説明の根拠もまたなくなるわけである。

いずれにせよ、私たちは、悲観も楽観もせず、子どもたちに事実を伝え、多様な認識と判断力を鍛えることこそ大切だと考える。

(こばやしまさひろ・新潟市中学校教員)

※資料等は、紙幅の都合で割愛した(編集部)